

●提出写真チェックシート（一般住宅）

項目	撮影対象		撮影時の注意事項	チェック項目
外部配管の状況	埋設深度	測定箇所全体の状況	掘削前の状態で撮影	☐
		掘削後の埋設深度検測	スタッフ、水系等を用い埋設深度とGLが確認できるように撮影	☐
		同上のアップ		☐
水圧試験	常圧測定	測定箇所全体の状況	水圧試験機と配管の接続状況が確認できるように撮影	☐
		ゲージのアップ	目盛が確認できるように撮影	☐
	水圧試験	試験状況全体	・水圧試験機と配管の接続状況が確認できるように撮影 ・試験圧0.98Mpa以上 ・試験時間2分以上 ・水圧試験区間の確認 ・メーター1次側試験時は逆流防止弁を取り外す	☐
		開始	・水圧試験状況が確認できるように全体的に撮影 ・目盛と開始時刻がわかるようにゲージと時計を一緒に撮影	☐
		終了	・水圧試験状況が確認できるように全体的に撮影 ・目盛と終了時刻がわかるようにゲージと時計を一緒に撮影	☐
メーター	メーター設置状況	全景	図面の正誤が確認できるよう全体的に撮影	☐
		メーターボックス内設置状況	・設置状況、メーターの向き、ロケーティングワイヤーが確認できるようボックス内全体を撮影 ・逆流防止弁は開の状態を撮影	☐
		メーター	・メーター種別(メーカー名)、番号(蓋、本体)、口径、検満、メーターの向きが確認できるよう撮影 ・設置状況と同一方向で撮影 ・メーターは清潔な状態で撮影	☐
水質試験	残留塩素濃度測定	採水状況	・採水中に色、濁りの状況を確認 ・給水栓より水を流し試験水の採水状況を撮影	☐
		残留塩素濃度測定	・計測器を用い濃度測定中の状況を撮影 ・水質試験は主任技術者が行う	☐
		測定結果	塩素濃度が確認できるよう撮影(背景は白が望ましい)	☐
給水器具	屋外水栓	給水器具	配置関係が確認できるよう撮影	☐
	給湯器 温水器 特殊器具	全景	パネルを外し配置関係が確認できるよう撮影(逆流防止弁の設置位置が確認できるように)	☐
		逆流防止弁	逆流防止弁の文字、若しくは矢印が確認できるよう撮影	☐
	屋内水栓	洗濯水栓	・配置関係が確認できるよう全景を撮影 ・器具が確認できるようアップで撮影	☐
		洗面	・配置関係が確認できるよう全景を撮影 ・収納扉等を開け、器具とアングル止水栓が確認できるよう撮影 ・器具が確認できるようアップで撮影 ・配管状況が確認できるよう収納スペース内を撮影	☐

項目	撮影対象		撮影時の注意事項	チェック項目	
給水器具	屋内水栓	台所・キッチン	・配置関係が確認できるよう全景を撮影 ・収納扉等を開け、器具とアングル止水栓が確認できるよう撮影 ・器具が確認できるようアップで撮影 ・配管状況が確認できるよう収納スペース内を撮影 ・浄水器カートリッジ等が設置されている場合は、配管状況、逆止弁設置状況を撮影	☐	
		トイレ	・配置関係が確認できるよう撮影(扉等入口がわかるように撮影) ・器具が確認できるよう撮影 ・アングル止水栓を撮影 ・トイレ内に立水栓がある場合、配置関係がわかるように一緒に撮影	☐	
		立水栓	・収納扉等を開け、器具とアングル止水栓が確認できるよう撮影 ・器具が確認できるよう撮影 ・アングル止水栓を撮影	☐	
		浴室	・浴室内の配置関係が確認できているよう全体的に撮影 ・器具を撮影(シャワーホースを輪状等にしホース全体が写る様に撮影)	☐	
		加湿器	・配置関係が確認できるよう全体的に撮影 ・逆止弁の設置状況がわかるように撮影 ・逆流防止弁の文字、若しくは矢印が確認できるよう撮影	☐	
ヘッダー	設置状況	固定・保温状況	固定・保温の状態が確認できるよう撮影	☐	
		行先	明記したヘッダーからの行先が確認できるよう撮影		
分岐・変換箇所	配管施工状況	保温前状況	保温前の配管状況がわかるよう撮影	☐	
		保温状況	保温後の状態がわかるよう撮影		
		行先	行先がわかるよう撮影		
弁栓類	設置状況	水抜栓	・配置関係が確認できるよう全景撮影 ・水抜栓筐蓋(文字が読めるよう)を撮影 ・蓋を開け、真上から撮影	☐	
		止水栓	・申請敷地内での配置関係が確認できるよう全景撮影 ・止水栓筐蓋(文字が読めるよう)を撮影 ・蓋を開け、真上から弁筐内部を撮影 ・ロケーティングワイヤーが確認できるよう撮影	☐	
立上り管	保護、保温状況	保温前状況	逆流防止弁前後の配管が確認できるよう保温前の状態で撮影	☐	
		保温状況	保温後の状態がわかるよう撮影		
表紙		年度	給水装置装置工事承認申込書の年度を記入	☐	
		撮影者、事業者名	押印は不要		